



## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、児童が、校区や金沢の自然や人々、伝統や文化に親しみ、愛着を持ち大切に作る気持ちを持つことをねらって、各学年の総合的な学習の時間を中心に学習を進めている。各学年の主な実践を以下に紹介する。

つなぐ! あすの材木へ

～ かんじて ひびいて うごきだす ～

### 3年 「昔ながらの金沢を体けんしよう」～金沢のお茶と和菓子～

ゴールデンウィークの新聞の1面に載っていた観光客でにぎわうひがし茶屋街の写真から、<どうしてひがし茶屋街にはたくさんの観光客がくるのかな>という学習課題を持ち、校区にあるひがし茶屋街を調べることにした。一人一人が予想を立て、調べたいテーマを持つことで意欲を高めた。見学では、観光ボランティア「まいどさん」に同行してもらうことで、ひがし茶屋街の歴史ある町並みについての知識を広げるとともに、町の人たちがその古い町並みを大切に守っていることに気づくこともできた。

ひがし茶屋街に和菓子の店が多くあったことから、金沢の伝統と和菓子について学習をつなげた。金沢で和菓子が人気な理由の一つである茶道を体験するために、ゲストティーチャーの方をお呼びし、お辞儀の仕方、お茶のたて方、飲み方、そしてお茶とともにおいしい和菓子が生まれたことを学び、和菓子工場見学や和菓子作り体験も行った。

これらの体験を意欲的にする中で、金沢らしさを見つけ、金沢の歴史を知り金沢の町に親しみと愛着を感じていた。

### 4年 「伝統工芸を学ぶ」

今年度も加賀友禅について学習した。一度は耳にしたことのある加賀友禅を、体験を通して作り方やその特徴を学んでいった。校区の友禅作家の方に「下書き」「下絵」「糊置き」「彩色」「中埋め」「水元」の大まかな工程を指導していただいた。体験を通して、それぞれの工程で使う道具の名前、使い方、工程で気をつけることなどを学んでいった。さらに、友禅作家の細やかな筆使い、色を塗り分ける感覚、自然をよく見て描く鋭さにも気づくことができた。

体験は、加賀友禅についてさらに調べたいという学びへとつながり、「加賀友禅の細かい工程」「加賀友禅と友禅流しの関係」「加賀友禅の歴史」「これからの加賀友禅」といったテーマをたて、グループごとに調べることになった。調べてまとめたことは、ポスターセッションの形で他校の4年生と交流した。交流を通して、自分たちの作った加賀友禅のすばらしさについてさらに誇りを持ち、大切にしていきたいという気持ちを持てるようになった。

### 5年 「金沢の食文化と加賀野菜」

加賀野菜について調べる中で、金沢の食文化について見直す学習を行った。まず、学年園で育てた加賀野菜の「加賀つるまめ」と「金時草」を収穫し味わった。家ではあまり食べないが、自分たちで育て収穫したことで「おいしい!もっと食べてみたい」という感想を持った。

加賀野菜ブランド協会のホームページや、加賀野菜の「出荷状況」「農家数」「生産額」などのデータをグラフ化したもの、社会科で学んだ地産地消とも結びつけ、様々な面から加賀野菜について考えた。そして、国語科の学習を生かし「金沢の食文化には加賀野菜は必要か」というテーマで意見文を書き、保護者にワークショップ形式で発表し意見をもらった。加賀野菜の源助大根と青首大根の食べ比べコーナーを設けたり、パワーポイントで加賀野菜の由来について発表したりして、「同じ資料でも見方が違い、意見も違った発表だったので聞いていておもしろかった」「加賀野菜を家庭の食事にも取り入れようと思った」などの意見をいただいた。地域に加賀野菜の農家や畑がほとんどないこと、実際に生産している方の生の声が聞けなかったことが残念である。

### 6年 「ジュニアまいどさんになろう」～金沢のよさを伝えよう～

北陸新幹線開業に向けて「金沢のよさを全国に広め、たくさんの人に金沢に来てもらおう」という目標を立て、まず全国に自慢できる金沢のよさを見つめ直すことにした。校区にあるひがし茶屋街に取材に出かけ、観光客の方に金沢の印象を聞いたり、「まいどさん」にガイドをしてもらったりしてより詳しくひがし茶屋街について知ることができた。また、取材の際に観光客の方々が楽しみにしている名所として兼六園が出てきたので、それについてもより詳しく調べた。そして、それらをもとに金沢の観光パンフレットを作成した。

また、調べたことをもとにガイド原稿を作成し、ひがし茶屋街で観光客に対して実際にガイドを行った。4～5分程度の内容だが、自作のパンフレットをプレゼントしたのが大変喜ばれ、その後多くのお礼状や記念写真が送られてきた。子ども達は、自分たちの活動を外部から評価され、あらためて金沢を誇りに思う気持ちが高まっていった。伝統的な街並みや、加賀友禅、金箔などの伝統工芸を未来につなげていきたい、という意見が多く聞かれた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ 児童会、委員会活動など ）